

令和5年度 卒業文集 旅立ちの日に

福岡城西学園を卒業する前に一人ひとり書いてくれた作文を文集にしました。
卒業生一人ひとり、それぞれがそれぞれの想いを持って書いてくれています。
今までの人生において経験してきた事、高校生活の事、これからの将来の夢など、
ありのままの表現で書いていますので、あえてそのままの文章で掲載させてもらっています。
読みづらい箇所については何卒、ご了承ください。



福岡城西学園





福岡城西学園 校歌

【作 詞】松本 レイ(5期卒業生)
在校生(10～12期)
【作 曲】松本 レイ(5期卒業生)
【編 曲】天本 健
【サウンド・プロデュース】松下 典由

1. 扉を開けたら 潮風が吹きこんできた
聞こえるチャイムは 始まりの合図だったんだ
黒板に書いたラクガキ 遠回りした帰り道
共にながした汗涙 青春はすぐ側に落ちてる
歩いていこう この道を 福岡城西学園へと 希望いだいて
僕らは今 一歩前の世界で生きている
勇敢な冒険者だから怖くはない 明日が楽しみだ
2. 瞳を閉じたら 波音が響いていた
こぼれる涙は これからのガイドだったんだ
桜着飾るよかトピア 命が宿るプラタナス
いろとりどりの並木道 百道浜少し寂しくなる
歩いていこう この道を 福岡城西学園へと 希望いだいて
ひとり旅を終えてから たどり着いた奇跡 忘れずに 手を取り合い今
夢をつかもう怖くはない 明日が楽しみだ

T.I(福岡市立内浜中学校出身):中村学園大学(教育)

「人生を変えてくれた学校、福岡城西学園」

私は小学 3 年の終わり頃に学校で体調を崩し、それ以降 1 人で学校に行くのが怖くなり中学 2 年生頃まで母、もしくは父に付き添ってもらっていました。小学 5 年生からは通常クラスに居るのがしんどくなり、支援学級に移りました。また不登校になった時期もあり、不安な毎日を過ごしました。中学生の時に同じ支援クラスだった先輩が福岡城西学園(当時神村)に通っており、色々話を聞きここに通うことを決めました。入学前は「友達できるかな」「毎日通えるかな」と不安な気持ちがありました。でもすぐに友達もでき、先生方もいい人ばかりで気付けば毎日学校に行くのが楽しくなりました。1 年生の途中からは陸上部に入部し、3 年生の県大会では三段跳びで個人優勝、全国大会で東京に 2 度行くことができました。また他にも、スクーリングで鹿児島まで行ったり、実際のスタジオに行き、校歌レコーディングをしたりと、言ったらキリがないくらいたくさん思い出があります。3 年間毎日、先生や友達と話すことができ本当に楽しくて、一度も学校に行きたくない日がありませんでした。校歌の歌詞にもあるように「明日が楽しみ」な日々でした。そして 1 番目標にしていた 3 年皆勤を達成することができました。本当にここまで成長できたのは、いつどんな時でもサポートしてくださった先生方のおかげです。感謝の気持ちしかありません。ありがとうございます。

毎日が不安だったあの頃の自分からしたら、こんなにも充実した高校生活になるなんて思ってもいませんでした。

人生を変えてくれた福岡城西学園、本当に大好きな学校です。

S.H(福岡市立片江中学校出身):筑紫女学園大学(社会福祉)

高校1年生の頃の私は、常に不安を抱えていた。勉強の進度についていけず、先生に怒られることに常に怯えていた。とうとう体調を崩して学校に行けなくなった。毎日が不安だった。転校が決まってからもその不安は変わらなかった。転校先には友達がいなかったこともあり、「友達ができるかな」や「ちゃんと学校に通えるかな」と、色々な不安が渦巻いていた。でも転校してすぐに杞憂だったことが分かった。先生達も優しく接してくれたし、友達も多くできた。陸上部にも入部して、すぐ練習は苦しく辛いものだったけれど、多くの友達と切磋琢磨できた。全国大会にも出場できた。

文集を書くにあたって、高校生活を振り返った。その中で、私は多くの人に支えて助けてもらったからこそ前に進むことが出来たと思った。前籍校や福岡城西学園の先生方、友人、そして家族。だからこそ、この卒業という節目に、支えてもらった方々に感謝を伝えたい。

K.H(福岡市立姪浜中学校出身):福岡スクールオブミュージック(音声映像)

まず一番初めに思ったことは、福岡城西学園(旧神村学園福岡校)に転校して良かったなということです。前の私立高校はすべり止めとして受験していた所で、学校見学をしておらず学校のHPを軽く見た程度でした。それが災いし、いざ入学したものの学校に馴染めずすぐに学校に行けなくなりました。

ただ、当時から行きたい専門学校を決めていたので私立高校の先生からのすすめで通信制高校に転校しました。何校か回った中で、自由な校風だと言われたこの学校に決めました。初めは在宅コースで、学校行事だけ登校していましたが、担任の先生から「とりあえず週2日とか来てみたら？いろいろできるよ」と言われたことをきっかけに少しずつ学校に行くようになりました。

最初は学校内で分かるのは先生だけという状況でしたが、次第に友達ができ、いつの間にか全日コースに変えていました。この学校は人数が少ないので、立候補すれば体育祭や高校準備講座等実行委員になることができます。体育会系の人じゃないとダメとか、頭が良くないとダメとか、そんなことは一切ありません。やる気があるかどうか重要です。やる気があるというのは、表に立つことだけではありません。事前準備を行う人、計画立てをする人、意見をまとめる人。一人一人のやる気、活躍、頑張り、形は違えど、この一つ一つを認めてくれるこの学校はとても居心地が良く、学校に行くのが楽しかったです。

しかし、ここまでこれたのは、決して一人の力ではありません。この学校に送り出してくれた中学校、私立高校の先生、経済面、精神面など全面的にバックアップしてくれているお父さん、福岡城西学園の先生、たくさんの方々の支えがあってこそです。

本当に感謝しています。ありがとうございます。

ここを卒業した後は、ずっと行きたかった福岡の音楽系の専門学校へ進みます。きっと楽しいことばかりではないけど、高校の方が楽しかったなとはせず、楽しいこと、苦しいことをたくさん経験して、高校も楽しかったけど、今はもっと楽しいと、良い意味で城西学園を忘れられるよう頑張っていきます。

小学校から一緒に友達、高校からの友達、付き合いも進路もバラバラだけど、みんなに出会えて良かったです！

H.K(福岡市立高取中学校出身):就職

私は小学4年生の時から学校に登校をしなくなりました。不登校だった当時は人と関わることが苦手ですと下を向き、目を合わせることもあまりしなかったです。ですが中学生の時フリースクールに通うようになったことで人と関わることが楽しいことを知り、高校生になったら沢山の人の関わりたいと思っていました。そして神村学園に入学してからの3年間本当に沢山の人の関わることが出来たと思っています。入学した時仲良くしてくださった先輩方、同級生、初めてできた後輩年齢関係なく関わることができて本当に楽しかったです。きっとこの先の将来高校生活を思い出しながら頑張っていくのだろうと思っています。

S.O(佐賀県立唐津東中学校出身):芸能プロダクション

私は高校2年生の春に神村学園に転入してきました。以前通っていた学校に入学するために努力したし、思い出に残っていることもたくさんあったので、転校することになった時は複雑な気持ちでした。でも、この学校に入ってからすぐ声をかけてくれた人と友達になることができたし、先生方も優しく、少し安心しました。小学生の頃から続けていた陸上もこの学校の陸上部のマネージャーとして1年間だけですが活動することができ、良い経験になりました。私は1年間しか続けることができなかったけれど、陸上部の人たちが一人一人たくさん努力をしている姿や練習を楽しんでいる姿を見ることができて良かったと思うし、陸上部の皆には感謝しています。私は元々人見知りだったけど、前の学校で人間関係に悩みあまり人を信用できなくなっていました。そのため、この学校で仲良くしてくれた友達や先生方にもたくさん迷惑をかけてしまったこともあり、後悔しています。そんな私の相談に乗ってくれたり、支えてくれたりした友達や先生方にはとても感謝しています。

たくさん迷惑をかけてしまった神村学園での高校生活だったけれど、友達や先生との良い思い出もあり、将来の夢も見つけることができたので、この高校生活は忘れないで置こうと思います。最後のスクーリングでは、5日間たくさんの授業を受けました。全ての単位を取り終えるために、最後まで支えて下さった先生方にはとても感謝しています。本校の先生と一対一での授業もあったため、私の今までのことについて話を聞いてもらったり、色々な話をしたりする時間もあり、それをきっかけに元気になれたし、不思議だけど前の自分みたいに自然と人と関われるようになった気がします。このことは私にとってとても嬉しかった出来事で、そのきっかけを作ってくれた先生にはとても感謝しています。全ての単位を取り終えたことは自信にも繋がったし、友達や先生方と楽しく過ごせたスクーリングは高校生活最後の大切な思い出になりました。まだまだ人見知りの私ですが、この学校で出会った友達や先生方、また今まで誰よりも支えてくれた家族への感謝の気持ちを忘れず、これからは自分のやりたいことに向かって頑張っていこうと思います。2年間本当にありがとうございました。

A.T(壱岐市立石田中学校出身):アミューズメントメディア総合学院

高校生活はあっという間だった。中学三年の二学期私は不登校になりました。三学期からは別室登校で午前中だけ学校で過ごすようにしました。卒業間近来年はどうしようかと悩んでいたそんな中お父さんが紹介してくれた学校の1つに神村学園がありました。これが私と神村学園の出会いです。

中学三年の冬、進路のじきになると学校を決めなければいけませんでした。離島だったのでそのまま島で高校を過ごすのかそれとも親元を離れて神村学園で過ごすのかすごく悩みました。それでも、島には高校が二つしかなく学校に毎日通える自信がなく神村学園を選びました。親元を離れての生活、都会に飛び込む、新しい同級生、学校に毎日通えるのか数えきれないほどの不安がありました。

入学当初はやはりクラスに入るのも抵抗があり先生と一緒に入ったり途中で抜けたりしていました。一年生は何とかやり過ごせました。朝から最後まで学校に居れたそれだけでも私の中では大きな成長を感じました。

二年生では少しずつ学校生活に慣れ新しいことに挑戦しようと思い生徒会活動を始めました。私は副会長として学校をより良く過ごしやすい環境を目標に頑張りました。

そして三年生、私の中で一番思い出のある一年です。陸上県大会では誘いを受け、走るのには苦手だったけど自分の中でとにかく走ってバトンを渡すことを意識して練習に励みました。もちろん筋肉痛で毎日メンバーについていくのもキツかったです。でも無事に一位が取れて私も大満足で終われました。

フィリピン短期留学では初めての海外で元々興味はあり海外に行ってみたいなという軽い気持ちで行きました。約一週間英語しかない環境、慣れない環境での生活はきつさもありましたが新鮮で楽しかったです。一人で買い物できるようになり嬉しかったです。

私の高校生活三年間は本当に濃く短く終わりました。あれだけ沢山の不安は、今は全くありません。これも全部周りの友達や先生、離れても応援してくれた家族のおかげです。本当にありがとうございました。この三年間で学んだことを忘れずに次は東京で自分の夢を追い頑張ります。

A.F(福岡市立照葉中学校出身):崇城大学(薬)

私の高校生活は、絶対に過去には戻りたくないと思うほどつらいものでした。うつ病になってから、自律神経失調症や栄養失調など、色々な病気にかかり地獄そのものでした。

しかし、悪いことばかりではありませんでした。転校したことで、新しい出会いにも恵まれたり、家族の優しさや愛情に気づけたり、人に優しくなれたりしました。

「笑える日は来る。」その言葉を信じて、これからも笑えるように努めていきたいです。

S.O(糸島市立二丈中学校出身):梅光学院大学(国際)

私の神村での3年間は、人との付き合い方に向き合うものでした。

通信制ということもあり、神村は個性の強い子が多く、まさに十人十色でした。

この3年間、多くの人と関わる中で、楽しいことや悩まされることが多くあり、そんな中で、人との付き合い方で大切なことに気がつきました。それは、ことわざにもある「来るもの拒まず、去るもの追わず」です。これを意識すると人との付き合いがとても楽なものになりました。

大学に進学しても、神村で得たこの気付きを忘れず、活かしていこうと思います。

I.F(福岡市立下山門中学校出身):株式会社ｽｷﾞﾔﾏ

私は中学1年生の後半から不登校になり、毎日家の中でずっとゲームをするか寝るかぐらいで、とりあえず母からせめて高校資格は取ってくれと言われ、家から近い神村を選び入学しました。

入学してからは嫌でも毎日学校に来れるようにと、皆勤賞を目標にして、無事に皆勤をとることができました。

2年生になってからは友人とアルバイトを始めました。そのおかげで先生からも「明るくなったね」と言われ、自分に自信を持てるようになった気がします。

3年生では就職活動でドタバタでしたが、すんなりと就職先も決まり、残りの学生生活ものんびり過ごせたので良かったなと思っています。

今の私が居るのは、親や先生はもちろんですが、友人たちのおかげだと思います。口下手な私に嫌な顔ひとつせず、今まで関わってくれた人たちに感謝しかありません。

J.E(福岡市立高取中学校出身):中村学園大学(栄養科)

僕は2年生の12月に転入してきました。転入前に一度見学に来た時は、髪染めてる人たくさんいるし女子はメイクしてる子多いし怖…とか思っていました。でも実際に通ってみると、話しかけに来てくれたり色々教えてくれたりと優しい子がたくさんでほっとしました。また、午後の選択授業では学年やクラス関係なく趣味の合う子と仲良くなれてとても楽しかったです。性格や考え方が全く違う子たちと交流する機会が他の学校と比べて多いなと個人的に感じ、自分にとっていい経験になったと思っています。もっと早くこの学校に来られていればと思うことも少なからずありました。ただ、レポートは超めんどくさかったです！これを読んでいる皆さん、レポートは苦手科目や面倒なやつから進めるのをオススメします！じゃないと後々だるい事になるよ！少なくとも僕はなりました。経験者からの教訓です。覚えておきましょう。レポートさえ終わらせてしまえば後はほとんど楽なので、高校生活を謳歌できるはずです！

では、ここからは謝辞を。まずは、2 年時の担任、木村先生。転入したばかりで何も分からない僕をサポートしていただき、ありがとうございました。スクーリングの時のモーニングコール、とても有難かったです。もう神村の先生ではなくなりましたが、今の職場でもお身体に気を付けて明るく元気な先生でいてください！次に、3 年時の担任、有吉先生。本当に、たくさんご迷惑をおかけした自覚しかないです。でもその度に丁寧に対応していただけてすごく嬉しかったです。それから、平木先生。転入の面接の時から今まで、たくさんのお話ができて楽しかったです。卒業後も本は色々読むつもりなので、感想とか話せたらいいなと思ってます！最後に、脇本先生。短い間でしたが、軽音でボーカルとして成果発表会で歌えて嬉しかったです。卒業しても顔出しに来ると思うので、よろしくお願いします！また、それ以外の僕に関わってくださった全ての先生方、後輩のみんな、本当にありがとうございました。正直、卒業後の未来は不安しかありませんが、僕なりに、僕らしく、何とか頑張りたいと思います。本当にお世話になりました！

K.M(福岡市立玄洋中学校出身):就職

私は、神村学園高等部に入学する前は小学校・中学校と先生からや同級生たちにいじめられ「私は生きていいの?」「この世に存在していいの?」「死にたい」という気持ちが多かったです。

しかし、唯一小学校から 中学校まで仲よくしてくれた友達が 1 人いました。その子が、「好未は、いて良いんだよ 逆に、いたらいけない人なんていないよ。」って言ってくれたんです。唯一の友達が、そんなことを言ってくれるとは思わなく、涙を流すことがやっとできました。でも、高校に上がると知らない人ばかりで、心が苦しくなってしまう、人とはできるだけ話さないようにしていましたが、神村の生徒は違いました。1 人である私に、優しく話しかけてくれました。その日から今まで本当に神村に入学できて良かったです。優しい先生方、優しい生徒と友達、そんな優しい人ばかりの神村は大好きです。神村で学んだことや過去のことを活かし、これからも人の役に立てよう頑張ります。もし今つらいことがあったりしたら遠慮せず相談できる先生や友達に相談してほしいです。今まで 3 年間、本当にお世話になりました。とても楽しい高校生活でした。

Y.M(福岡市立壱岐丘中学校出身):大原保育医療福祉専門学校

私にとってこの三年間はこれまでの学生生活の中で一番充実していました。理由は四つあって、週五日間休まず登校できたことです。中学一年生の時、環境や友人に馴染めずストレスを抱え、一時期クラスから離れていた自分にとって大きな進歩となり、自信に繋がりました。おかげで三年間皆勤賞を頂くことができました。

二つ目は文化祭の実行委員に立候補し取り組んだことです。これまでやってこなかったことに挑戦しようと思い、二年生の時に開催まで毎日放課後に他の実行委員の人たちとパソコンでサイト作成を行いました。慣れない作美で大変でしたが、終わった時は達成感があり、自信に繋がりました。

三つ目はスクーリングです。一年生の時は コロナで本校のある鹿児島に行くことはできませんでしたが、二・三年生では行くことができました。早朝の起床は辛かったですが、その分友人と一緒にいる時間が増えたり、ちょっとした観光ができたのは良い思い出でした。

四つ目は友人との時間です。中学まで多くの人たちと馴染めなかった私にとってここで出会えたみんなとの時間は最高の宝物です。

N.O(福岡市立城南中学校出身):日本経済大学(経済)

入学した時は不安でいっぱいでしたが、友達が話しかけてくれたおかげで溶け込むことができました。その時私は昔から習っていた野球をもう一度したいと思い、部活動で野球部に入りました。最初はものすごく緊張していて、自分のプレーができませんでしたが、先輩や先生方が優しくしてくれたおかげで楽しく野球をすることができました。それから1年も2年も終わり3年生になった時、部活動でキャプテンになりました。最初は不安でしたが、チームメイトのみんなが支えてくれたおかげで何とか頑張れました。部活動での夏の大会ではチーム一丸となって、挑んだ結果、全国大会出場という成績を収めることができてとてもうれしかったです。高校生活を振り返ってみると様々なことがありましたが、担任の先生や顧問の先生を含めたくさんの方々に支えられたなと思いました。先生たちのおかげで充実した高校生活を送ることができて、とても感謝の気持ちでいっぱいです。約3年間本当にありがとうございました。

H.K(福岡市立金武中学校出身):福岡医療専門学校(理学療法)

私はこの学校に来て、たくさんの思い出を作ることができました。また、いろいろな人に出会えることができてとても感謝しています。いつも優しく親切に接してくれる先生方とも出会えてすごく感謝しています。特に僕の中での学校の思い出として忘れられないのは部活動です。僕はサッカー部に所属していました。1年生の頃最初は同学年の子が全然いなくて、あまり楽しい感情でサッカーをやっていませんでした。けどあと1年だけ続けようと思い、何とか耐えました。そして2年生になり、新しい部員も入ったり、先輩方とも仲良くなってすごくサッカーが楽しいって思えるようになりました。そこから練習の時間も増えたり、前まで行きたくないって思ってた感情がサッカーやりたいと言う感情に変わっていき、友達や先輩方と楽しく部活をすることができました。3年生になってキャプテンになり、全国大会に行きたいと言う

目標ができました。友達と積極的に部員を集めて、強力な助っ人も入り 4 年ぶりに全国大会出場することができました。結果は初戦負けだったけど、友達や後輩達と、とても良い思い出になりました。またこの学校に入り最高の友達が支えてくれた。先生や両親にはすごく感謝していこうと思います。今後の人生にとってすごく大きな思い出となった 3 年間でした。

D.A(福岡市立当仁中学校出身):日本体育大学(保健医療)

私はこの高校生活の中で多くの友達や先生方と会えたこと、そして生徒会や部活動を経験することができ、大きく成長できた 3 年間だったと感じます。

この卒業文集を書くにあたり、私には印象に残っていることが 2 つあります。中でも最初に頭に浮かんできたのは初めて友達ができたときのことでした。入学したばかりの頃、今まで不登校だったこともあり、馴染むことができるかととても不安がありました。ですが、横の席になった子が話しかけてくれたことで、一気にその不安がなくなり、久しぶりに友達ができて嬉しかったことを今でも覚えています。

そして、次に浮かんできたのは陸上部の事でした。みんなで練習に励み、今まで頑張ってきた仲間と全国大会に行けた事はとても良い経験になりました。また、陸上部顧問だった木村先生には陸上の事だけでなく、生徒会や進路の事でもたくさんお世話になりました。木村先生に出会ってから大きく変わることができたと思います。1 年生の時から面倒を見ていただきありがとうございました。

そして、最後に 3 年担任の小林先生には、進路や生徒会のことでたくさん相談に乗っていただきお世話になりました。受験の準備の際、面接練習などで夜遅くまで残ってすることもありましたが、冗談を交えながら優しくアドバイスをしてくださり、大変さの中にも楽しさがありました。そのおかげで目指していた大学にも合格することができたと思います。本当にお世話になりました。そしてこれからは高校生活で経験したことを活かして、救急救命士という夢を叶えるために頑張っていきたいと思います。3 年間本当にありがとうございました。

H.S(福岡市立次郎丸中学校出身):就労移行支援

僕は入学する前は授業についていけるか、ちゃんと卒業できるか不安だったけど、先生方のおかげで無事に高校生活を過ごすことができました。レポートや試験は本当に大変だったけど、自分なりに頑張ることができたので良かったと思います。特に、担任の先生にはいろいろなことでお世話になりとても感謝しています。これから先、辛いことや大変なことがたくさんあると思うけど、自分を信じて頑張っていこうと思います。今まで支えてくれた家族に感謝して、いつか恩返しをしたいです。

T.K(福岡市立金武中学校出身):久留米工業大学(交通機械工)

私は神村学園に転校して多くの人に、自分が助けられていたと身をもって感じることができました。それは私がその場のノリで後先を考えずにしてしまったことで、もともとの学校を辞めなければならなくなった時も、私の母や父であったり、周りの親戚も私の人生が悪い道へ進まないように全力でサポートしてくれました。友人たちも学校が変わり、生活リズムも変わってしまった中、毎日のように一緒に学校の時と変わらずそばにいてくれました。最後に私は高校1年生の時に思い描いていたような普通な高校生活ではありませんでしたが、そうではなかったおかげで人の裏の顔も見ることができたし、本当に自分のことを想っている人たちと出会うことができたので、とても楽しくて、深い高校生活を送ることができました。周りの人たちのおかげで大学にも合格することができたので、今後は自分の行動に責任を持ち生活していこうと思います。

S.A(福岡市立香椎第3中学校出身):信州大学(人文)

大学受験。それについて考え始めたのはこの学校に転校して来てからだ。それまでの私は、高校も何となく受験し、大学については何も考えておらず、それどころか行く必要もないと思っていた。しかし、そんな中突然学校に行けなくなり、心を壊し、すぐに通信制高校への転校を余儀なくされた。はじめは、週2回の登校さえまともに出来なかった。勉強は1年間しておらず、レポートの提出にも苦労した。しかし、もう一度高校生活を過ごす中で、私の心には一つの目標が生まれた。

大学に行きたい。それも頑張らないと行けないくらいの。

3年生になり、勉強を始めた。夏からは塾にも行き始め、毎日たくさん勉強した。なにせ1年間勉強していないのだ。習慣を付けるところから始めなければいけなかった。そしてついに、国立大学を受けに行けるところまで来た。当初目指していた大学とは違うが、2年前の私には想像すら出来なかっただろう。私は変わることが出来た。学校へも行けるようになったし、生活習慣も改善された。辛かったとき、生きるという選択をして、本当に良かったと思う。

これから、きっと私は大学生になる。大学生になっても、社会人になっても辛いことは山のようにあるだろう。でも、今の私なら大丈夫だ。

辛い時間は必ず終わることを知っている。

私の未来は明るい。

E.S(福岡市立百道中学校出身):大学浪人

高校に入るまで僕の人生は曇天のようでした。というのもそれまで僕はしたいことや、やりたいことがなく、ただぼんやりと生きていたからです。そんな日々が続き、気がつくと、中学校にあまり行かなくなっていました。それから 1 年が経とうとしていた時、母に中学校のカウンセリング教室に行こうと誘ってくれました。そこで出会ったカウンセリング担当の柴尾先生という方に、この神村学園福岡を紹介してもらい、色々と検討した後、入学することになりました。そこから僕の人生は少しずつ変わり始めました。神村に来て 1 番助かったのが毎日登校しなくてもいいし、自分のペースで登校できることで、他にも校則がゆるく制服を着なくても良いので、とても通いやすかったです。そうして少しずつ登校していくうちに将来のことを考えられるようになりました。そこからしばらくして高校 2 年生の夏、父に「芸術方面に進むのはどうだ」と言われ、美術予備校に体験に行きました。2 週間体験してみて思った事はもっとうまく絵を描けるようになりたいと言う強い思いでした。そして僕の人生は晴天に変わりました。最後に僕はこの高校に来て大きく変わることができました。関わってくださった先生方ありがとうございました。

F.I(福岡市立内浜中学校出身):筑紫女学園大学(文)

私は中学校の時、体調を崩し、ほとんど学校に行けませんでした。これから先の事を考えれば考えるほど不安な時に、中学校のステップルームの先生に勧められて高校入学準備講座から神村学園に通い始めました。通い始めも入学当初も登校するときの朝はいつも緊張していましたが、声をかけてくださる先生方のおかげで少しずつ慣れていき、登校日数も増やしていくことができました。中学時代に嫌で全然できていなかった勉強も授業を受けるにつれて克服していききました。3 年間で少しずつできることが増えていったので、将来についても考えられるようになり、3 年前の私には考えられなかったことが起こりました。高校にも行かないと言っていた私が 4 月から大学生になります。これも、温かく見守ってくださった先生方のおかげだと思います。3 年間お世話になりました。ありがとうございました。4 月から好きなことを勉強して頑張ります。

K.T(糸島市立前原東中学校出身):大原^スーツ公務員専門学校

私の人生で一番辛かったのは中学生の時の不登校時期です。あの頃は本当に生きるのが辛くて毎日が不安でいっぱいでした。だけどそんな時、前を向けたのは友達の助けがあったからです。1人で先の見えない不安の中にいたとき声をかけてくれたその友達には今でも感謝しかありません。高校生活も不安でいっぱいですが最初のうちは無理をして友達作りに励んだ

りもしたけれど、今では親友とも言えるような友達だったりたくさんの友達を作ることができました。陸上部に入ったのが私を一番変えたんだと思います。陸上をしていく中で、辛くても走り抜けることの達成感、みんなで努力することの楽しさ、そういったものを知ることができました。そうやって出会った友達が私の高校生活の1番の宝です。これから辛いことだったり知らないことだったり不安だらけの世界に飛び込むことになるけれど、それでもしっかりと前を向いて走っていこうと思います。

R.N(糸島市立二丈中学校出身):九州産業大学(生命科)

高校生活を振り返って、自分が今まで生きてきた中で一番頑張って、一番成長することが出来た3年間だったと思います。

自分は中学の頃、人と関わることが苦手で不登校でした。なので高校から、勉強を一から学び直して、普通の人たちに追いつきたいと思い神村学園に入学しました。最初は、通信制高校ということにコンプレックスを感じていました。しかし、周りの人たちも自分と同じように不登校であったり、普通科の高校と比べて、ルールが緩いことがとても過ごしやすかったです。

1年生の頃は、中学時代に人と関わることをあまり経験してこなかったため、どうしたら友達をつくれるのかをずっと考えていました。周りがあまりやりたくないことを引き受ける、相手を全部肯定するなど試行錯誤していましたが、あまり上手いかず、自分が無理をして仲良くなったとしても、負担が大きくなり耐えきれなくなるだろうと考え、一人で頑張っていこうと思い、やめました。しかし、たまたま話しかけてくれた人がとても優しく、友達になることが出来ました。その友達のきっかけで、他の人と話す機会が増え、さらに友達を作ることが出来たので、その友達には感謝してもしきれないです。

また、色々な先生が授業時間外でも分からないことがあったら丁寧に教えてくれたり、人間関係などで困ったことがある時は、どれだけ遅い時間になっても、スッキリするまで相談に乗ってもらうことが出来たので、すごく助かりました。

3年生の時には、同じ受験を頑張る友達と競い合ったり、励まし合ったりすることで、勉強を頑張ることが出来ました。いなかったら、ここまで頑張ることは出来なかったと思います。

高校生活を通して、人との距離間を学び、今でも友達のつくり方は分かりませんが、人と喋ることに対する苦手意識はなくなったと思います。

今思うと、普通科の高校では味わえない、濃い3年間で過ごせました。

人に助けられてばかりの3年間でした。本当にありがとうございました。

R.N(福岡市立花畑中学校出身):西日本短期大学(緑地環境)

高校生として過ごした3年間、様々な経験を積みました。死ぬ気すら失う絶望から、はたまたもう死んでも良いくらいの幸福も、感受性の豊かな青年期には贅沢すぎる充実した学校生活でした。小さい頃から普通も当たり前も分からず疲れたまま生きてきて成長する度に苦しくて苦しくて何も希望も無く虚無感で生きていました。前の高校でも普通に馴染むことが難しくて辿り着いたのが神村学園でした。私の変わっているところが個性として認められて、まだ私も死ぬのは惜しいと思えて、それを励ましてくれる友人のお陰で今生きていけると思っています。これまで必要ないと思っていた友人がこれからはかけがいの無い宝物となっています。今まで気づけなかったその宝物をこれからよりもっと大切にしていけたら良いなと思います。それと、私の転校や生活を支えてくれた家族にも深く感謝します。これまでご指導して頂いた先生方、家族、そして今生きる糧となっているたくさんの友達に囲まれてとても幸せな人生を歩んでいけると思います。前向きにしてくれた神村の友達、本当にありがとう。おれはとても幸せです。

A.H(福岡市立姪浜中学校出身):福岡こども専門学校

私は、前の学校で、人間関係や体調面で悩んでしまい、学校を休む事が増えてしまいました。そんな中、カウンセリングの先生から神村学園をすすめてもらい、たくさん考えて、転校することを決めました。高校 2 年生秋の遅めの転校だったので、周りのみんなは友達として関係が出来上がっていると思い、すごく怖かったけど、自己紹介をしたときからクラスのみんなは笑顔で、たくさん話しかけてくれました。それからスクーリングで友達もできて楽しく学校に通うことができました。中学生の時に想像していた、毎日朝から学校に行き授業を受け、放課後は部活をし、寄り道をしながら帰る、1 つの学校で 3 年間学び卒業する。そんな私が思っていた普通の学校生活ではなかったけど、今では初めから神村学園をえらんでいればよかったと後悔しています。それぐらい短い間でもたくさん思い出ができたし、放課後も最終下校ギリギリまで先生たちと話しちゃうくらい。本当に楽しい毎日でした(^^)たくさんお世話になりました！

R.M(福岡市立前原西中学校出身):西南学院大学(人間科)

私の将来の夢は、人の心に寄り添える人間になり、生きやすい世の中にあることです。

私はこの高校生活で人の相談に乗ることが多かったと感じます。その都度、自分が考える良い解決策やアドバイスを考えることができたけれど、その人に合ったアドバイスをすることがとても難しく感じました。人によって価値観も違えば育った環境も違うため、自分の価値観

だけでものを言うのはやめて、適応する力を身に付けようと思えるようになりました。

また、生活をしている中で、ジェンダーに関する悩みや問題が多く見受けられました。ジェンダーに関する悩みを持った人にとって、今の日本の環境や学校の教育はあんまり良くないと感じています。そういった悩みを持った人にとって、居心地の良い居場所になれるように、大学で臨床感覚やプライバシーへの配慮についてしっかりと学びたいです。

また、留学を通して、日本と海外の性に関する価値観の違いや、文化の違いを学び、今後の仕事や活動に活かしたいと考えています。

高校生活は私の人生の中で1番成長できた3年間だったと思うので、これからもしっかりと自分の軸を持って楽しく自由に生きていきたいです。

S.M(福岡市立友泉中学校出身):福岡 eco 動物海洋専門学校

私は今、高校3年間を無事に終えようとしていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

最初はとても緊張していたことを今でも鮮明に覚えています。小学校中学校と不登校だったことや、コロナウィルスが猛威を振るう中、私はちゃんと通学できるのか、とても不安と心配で頭がいっぱいでした。

しかし、実際に登校してみると、先生方の手厚いサポートや細やかな心遣い、友達からフレンドリーに声をかけてもらえたことにより楽しく学校生活を送ることができ、不安と心配は次第に消えていきました。

私は、この学校でたくさんのことを学び、成長できたと思っています。自ら進んで自分のことをよく考えることができるようになり、夢と希望を見つけることができたことが1番の成長と感じています。

これからの人生はとても長いですが、高校生活の3年間を通して培った経験を生かし、自分の夢に一步一步確実に進んでいきたいと思います。今まで本当にありがとうございました。お世話になりました。

この道より我を生かす道なし この道を歩く（武者小路実篤）

M.I(福岡市立田隈中学校出身):中村学園大学(教育)

私は前の学校にいたとき、毎日ちゃんと学校に通うことができなくなりました。担任の先生やクラスメイトは、全然学校に行かない私に優しく接してくれたり、悩みを聞いてくれたり、私はたくさんの人の温かさを感じました。だけど学校に行っていない分、周りとの学力の差や友達関係に不安があり、1年生の12月に神村学園に来ました。転校してすぐもなかなか学校に通えるような精神状態ではなく、2年間在宅コースで、ほぼ学校のことは考えないまま3年生になりました。3年生になると進路を真剣に考えるようになり、大学に行くためにちゃんと

学校で授業を受けようと決め、全日コースで通い始めました。やはり始めは学校の雰囲気になじめず不安でした。でも、私と似たような悩みを抱えている子と出会えて、辛いのは自分だけじゃないんだと気づけました。3年のスクーリングは、仲良くなった子たちとのたくさんの楽しい思い出ができました。先生方も皆優しく、共に私の進路について真剣に向き合ってくださりありがとうございました。

ここでの出会いは、これからの私の人生において必要なことを学べた良いものでした。沢山の人への感謝の気持ちを忘れずに生きていきます。

G.O(福岡市立原中央中学校出身):九州産業大学(産業理工)

高校に入る前は、学校になじむことができるのか、友達をつくれるのかなど不安でした。蓋を開けてみれば、仲の良い友達ができ、部活ではつらい時期もありましたが最後までやりき、3年間塾にも通わせてもらえて、充実した日々を過ごせました。これだけ楽しく過ごせたのは、途中休むことが多くなった私を見捨てなかった両親と先生方の協力あつてのことだと思います。本当にありがとうございました。

最後に、これだけ色々な方に応援されていながらも「受験」という面で、頑張りきることができなかったことだけが心残りではあります。受験が一段落した今思うことは、受験に限らず、努力することは自分のためだけではなく、周りの支えてくださった方々に恩返しする意もあるのだなということです。今後は周りを広く見て努力していきたいと思っています。

A.S(福岡市立玄洋中学校出身):令和健康科学大学(リハビリ)

私は、福岡城西学園入学前にどの高校にも進学できないと言われ、特に目的もない状態で、起きてゲームして寝てを繰り返す生活を続けていました。当時、通信制高校に対して何している場所なのか知らず、マイナスのイメージを持っていて、高校入学準備講座を受けた時は、最初で最後の先生や生徒と会う機会だと思っていました。ですが、入学後も授業はあり、登校や授業の出席は自由であります、先生や他の生徒と会う機会があることに驚かされました。卒業するだけなら、スクーリングと単位認定試験をこなすだけでいいですが、選択肢としてあることは生徒の可能性を残しておくという面で良いものだと感じています。特別授業の中で、自身の卒業後の姿を見直す機会があり、生活を見直すことができ、目的を持って生活することができました。

K.F(福岡市立原北中学校出身):就職

中学では人間関係や家庭環境が原因で不登校になった。今の自分に大きく影響し、心に深く残る出来事になった。

高校に入学しても相変わらず学校に行けず、家で過ごす日がほとんどだった。家では、音楽を聴いたり、動画を見たりして過ごしていたが、ふと思い出しては辛くなって不安でいっぱいになっていた。

日々を過ごすなかで、“結局、その出来事に執着しているのは自分だ”ということに気づいた。わざわざその記憶を大切にしているのは自分で、ことあるごとに思い出して苦しめているのも自分で、そう思うとやっぱり悲しみと向き合っている方が楽なのだろうと思った。

本当は真っ当なのに、自分は“そう”にしかねないのだと思い込みたくて、“そう”いう振る舞いをしているのではと思い始め、それがいきすぎて自分の幸せから遠ざかっていって、ありのままの自分を認めることが大切だと感じた。色々考えたり、自己分析しているフリをしながら、自分の心の声を聞いていないだけなのかなと思った。素直じゃないだけで、今後はもっと自分の気持ちに寄り添いたいと考えている。

そして、自分が学校の思い出がそこまでないため、もう少し学校に登校しておけば良かったかなと思う。先生たちもみんないい人で、この学校に入学を決めて良かったと思う。

M.N(唐津市立浜玉中学校出身):福岡大学(商)

私は、去年の4月から今に至るまで、多くの人に支えられてきたということを身をもって実感することが多くありました。以前の高校では、人に相談することができず、自分一人で悩み空回りすることが多く、苦しい時間がほとんどでした。転校しても前の学校生活のことを引きずっていました。けれど、そんな自分に積極的に話しかけてくれる人が多く、人の温かみを感じることができました。日を重ねるごとに多くの人と出会い、多くの思い出ができました。部活でも多くのことが学べ、嬉しいことも悔しいことも経験でき、願ったことは全てが叶うわけでもないということも身をもってわかりました。受験にも、最後の最後まで両親ともに反対され続けてきたけど、学校に来てみれば多くの人が話を聞いてくれて寄り添ってくれたので、最後まで心が折れずに受験を乗り越えられました。今、振り返ってみると私は多くの人に助けられてきたからこそ今があるし、今後進み続けられる道ができたと思います。今後は、自分が助ける側の立場になって、一人でも多くの人が前に進み続けられる存在、そんな教師になるという目標を見失わず、今後も自分らしく進み続けます。

R.T(糸島市立前原東中学校出身):大原スポーツ公務員専門学校

僕はこの高校に来てたくさんの人に支えられて今の自分があると思います。僕は中学時代不登校で学校に全然行ってなく、友達と呼べる人なんか数人しかいない中学校生活を送っていました。高校どこに行こうか悩んでいる時、この学校を知り、準備講座を受け、学校の雰囲気などに惹かれて入学しました。入学するとそこには、優しく話しかけてくれる先生方や、話しかけに来てくれる人などいて、中学までの学校というもののイメージが、自分の中でだんだん楽しい場所が変わっていきました。今では中学の頃の自分と比べとても明るくなり、この学校に入学して良かったなと心から思います。これからの人生でつまずくことや悩むことなどたくさんあると思うけど、この学校で学んだことなどを活かして頑張っていきたいです。

A.N(福岡市立博多中学校出身):福岡カルッツオブビジネス

僕はこの 3 年間、神村学園でいろいろなことを体験できました。1 つは進路です。去年の 3 月ごろ進路について考え始め、特に理由もないまま大学受験をすることを決め勉強を始めました。途中勉強が詰まったりしながらも進め、11 月に併願していた専門学校の合格をもらえたので、受験勉強が難しく、早く進路を決めて楽になりたいのもあって、小林先生に「大学受験を諦めて専門に行こうと思っている」と言ったら、「半年頑張ったんだからもうちょっと頑張ろう」と言われ、途中で諦めることもなく、大学受験を終えることができました。この卒業文集を書いている今は、結果がわからないのですが、「最後までやりきることができた事は成長できたんじゃないかな」と思っているのと同時に、頑張ろうと言ってくれた先生に感謝しています。もう一つは、友人関係です。遊びに行ったり、ゲームをしたり、たくさん思い出はありますが、特に印象に残っているのは、ステージゼロと言うゲーム大会で、友達に誘われて、一緒に出る人が 1 年から変わっても 2・3 年生の時では同じメンバーで、出て 3 年の時では九州沖縄ブロックでは 8 位まで行き、チームで練習する事はとても楽しかったです。3 年間お世話になりました。

M.U(福岡市立玄洋中学校出身):韓国語学堂

高校卒業までの道のりは私にとって決して楽なものではありませんでしたが、この神村学園に転校してきてからはとても有意義な学校生活が初めて送れました。それだけでも私にとって大きな進歩でしたが、学校生活以外にもボーカル、ダンス、韓国留学など自分にとってプラスになるチャレンジや経験などをすることができました。その中でも特に韓国留学は大きな経験と成長でした。言葉も食も文化も違う生活環境に初めは戸惑いホームシックになり、ダンスをしに留学に来たのにその本来の目的を忘れてしまいそうになるくらい初めはとにかく

苦しかったです。しかし、日本にいる友人や母からの応援のメッセージを沢山貰ったのにここで諦めてしまったらこれからの私にとって何の意味も無くなってしまうと思い、自分を奮い立たせて最後まで諦めずにいました。一歩勇気を出してダンスの人と友人になったり、一緒に慣れないソウルの街に休日ショッピングに行ったりと、自ら行動に移すことでとても有意義な留学にすることができました。この留学のおかげで、やりがい、挑戦したいことができるありがたい環境があるなら、迷わずチャレンジしてみることの大切さが改めて確認できる貴重な経験でした。

この経験を忘れずに、高校卒業後の語学、ダンス留学でも積極的にチャレンジしていきたい。

M.U(広島市立牛田中学校出身):九州産業大学(経済)

私は2年生の時に神村に転校してきました。最初は超根暗で誰とも話すつもりもない雰囲気を出していた僕だけど友達ができ、部活に入ることになりました。野球部にしか入るつもりなかったけど陸上部にも入ることになりました。こんな初めて尽くしの生活も部員や友達がいいたから楽しかったのだと思います。2年の夏は野球と陸上で全国大会に行き、先輩や友達といった東京はとても楽しい思い出でした。結果は残せなかったし、悔しい結果だったので来年も絶対また来ようと思いました。3年になると部活もより活発になりました。サッカー部に入り、3つとも県大会を突破し、また全国に行くことが出来ました。そんな全国大会はまたいい結果ではなかったけど、去年と違う楽しさや最後の大会をめいっぱい頑張ることが出来、とても充実した部活人生でした。そんな部活ばっかの生活だったけど隣や周りで頑張る友達や、指導や大会を組んでくれた先生、応援してくれる人たちがいてくれたからこそ頑張ることが出来ました。本当に感謝しています。最後に、2年間楽しい学校生活を送らせてくれた友達や先生方、ありがとうございました。

K.M(桂川町立桂川中学校出身):武蔵丘短期大学(スポーツ)

私は、高校二年生からこの学校に転校し人生で初めての転校で不安でいっぱいでしたが周りの人が優しく、すぐに慣れることができ、二年間楽しく色々な思い出ができました。転校の時には、両親にあたったり酷いことを言ったにも関わらず、私のことを一番に考え、ずっと寄り添ってくれた両親にはとても感謝しています。

「ありがとう」という言葉は、恥ずかしくて言えないので将来の夢であるサッカー選手という夢を叶えて、たくさんの恩返しができたらいいなと思っています。

R.H(福岡市立高宮中学校出身):起業準備

高校生活を振り返ると、私は多くの困難に直面していました。前籍校では、幼稚園から高校まである女子高に、高校から外部入学しましたが、元々幼稚園から同じ人達の輪の中に馴染むことが出来ずに、いつしか不登校になっていました。この時には高校2年生の冬で、指定校推薦を既に選んでいる状態だったため、両親に「辞めたい」と伝えるのはとても勇気がいりました。ですが、泣きながら伝える私に、父は忙しい中、沢山の時間を割いて、寄り添ってくれました。「そんなに苦しむ必要はないんだよ。」とかけてくれたその一言で、肩の荷が一気に降りました。転校する学校も一緒になってリサーチしてくれました。そしてこの学校に出会いました。通信制だけど週5日の授業があり、中学からしている陸上も続けることが出来ると知り、「ここなら私の高校生活をまだ取り返せる」と思い即決しました。

入学後には様々なことにチャレンジするようになりました。陸上部に入部してからは、毎日顔を合わせる友人がで、沢山の青春を取り戻していきました。高校生活最後の全国大会ではトップ8に入ることも出来ました。

部活以外にも、中学の時から憧れていたトビタテ留学 Japan の募集が始まったため、応募することにしました。留学担当の先生の支えもあり、無事に採用されて日本代表メンバーとして昨年7月にフィリピンへ留学を行いました。スラム街付近での生活は想像を絶する環境で、私が身体的や精神的にもまいっていました。ですが、陸上部の仲間がビデオメッセージをくれたり、先生方にも応援メッセージを頂き、その文面を見て何度も「頑張ろう。」と立ち直ることが出来ました。

これらのことをやり遂げられたのは、先生方が馬鹿にすることなく、一丸となって応援して下さることで、挑戦できる環境があったからです。

私は、高校3年間を通して得られた経験や知識を糧に、将来は世界各国の貧困を救うドクターを目指しながら、世界をターゲットにした起業家で二足の草鞋を履いていきたいです。

《令和5年度 部活動結果》

【 野球部 】 ●全国高等学校定時制通信制軟式野球大会

・ 出場

●定時制通信制福岡県軟式野球大会

・ 優勝

【 サッカー部 】 ●全国高等学校定時制通信制軟式野球大会

・ 出場

●定時制通信制福岡県軟式野球大会

・ 優勝

【 陸上部 】 ●全国高等学校定時制通信制陸上競技大会

・ 女子 100M：3 位入賞

・ 男子 400M：7 位入賞

・ 男子 5000M：5 位入賞

●定時制通信制福岡県陸上競技大会

・ 男子総合優勝

・ 女子総合優勝





福岡城西学園

あとがき

生徒一人ひとりに書いていただいた文章を読ませていただきながら、それぞれの生徒が入学試験・転校試験の面接に来た時の表情、お話を思い出しています。そして、それぞれの時間をこの福岡城西学園で過ごし、それぞれの葛藤や困難と向き合いながらこの卒業を迎えました。その間に皆さんの顔立ちもしっかりと確実に「大人の顔」へと成長してきました。その変化はとても大きなもので、おそらく皆さん自身にもはっきりと見て取れる変化だったと思います。

その成長の時間を思い出としてこの文集を作成しました。皆さんが10年後、20年後に、この冊子を見返し、過ぎ去った時間を思い起こしながら、また明日への生きる糧にしていただければと思います。